

# 村山知義展国際シンポジウム 「呼びかわす身体 過去、現在、未来」

2012年3月3日[土] 13:00-16:30 神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

美術の仕事を中心に紹介する展示会を、パフォーマンスと身体観の観点から補遺するシンポジウム。同日夜に行われる「新・劇場の三科1925→2012」と合わせ、理論と実践の双方から村山知義を再考する一日となります。自らもジャンル横断的な思索と実践を続けている、多方面の第一人者によって、村山が展開した全方位的な活動の現在性を追います。

**パネリスト** | デヴィッド・トゥーブ(作曲家、著述家、キュレーター)、國吉和子(舞踊研究・評論)、滝沢恭司(町田市立国際版画美術館学芸員)、水沢勉(神奈川県立近代美術館長)

**コメンテーター** | やなぎみわ(美術作家) **司会** | 三本松倫代(神奈川県立近代美術館学芸員)

**定員** | 50名(要申込、先着順受付) 無料 \*英→日の逐次通訳あり

**申込方法** | 住所、氏名、電話・Fax番号、メールアドレスをご記入の上、Faxまたはメールでお申込みください。

**申込先** | Fax | 046-875-2968 メール | public@moma.pref.kanagawa.jp

**主催** | 神奈川県立近代美術館 **協賛** | 公益信託タカシマヤ文化財団



上 | 自由学園で踊る村山知義 1925年(真山十次郎展)1925年(7)  
中左 | 「オレヤダ」(村山知義)1926年(自由学園卒業展)1926年(7)  
中右 | 吉行和子(7)  
下左 | 「オレヤダ」(村山知義)1926年(7)1926年(7)  
下右 | 「山の手美容院」(村山知義)1929年



## 吉行和子による童話の朗読とアフタートーク

2012年3月17日[土] 14:00-15:30

神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

NHK連続テレビ小説「あぐり」(1997年放送、原作 | 吉行あぐり)に登場した「山の手美容院」。日本の近代建築史に残るこのモダンな外観の建物を設計したのが村山知義です。

吉行あぐりの娘である吉行和子さんが、村山知義・壽子夫妻の童話を朗読します。さらにアフタートークとして、ご両親(吉行エイスケ・あぐり夫妻)と村山知義・壽子夫妻にまつわる思い出やエピソードを語っていただきます。

**出演** | 吉行和子(女優)

**聞き手** | 水沢勉(神奈川県立近代美術館長)

**定員** | 70名(要申込、先着順受付) 無料

**吉行和子** | 東京生まれ、1956年、舞台「アンネの日記」でデビュー。1978年、「愛の亡霊」で日本アカデミー賞主演女優賞を受賞。2002年「折り紙」で毎日映画コンクール田中絹代賞を受賞したほか、「佐賀のがばいばあちゃん」「おくりびと」など出演するなど、現在も映画やテレビに数多く出演。主演映画「人生、いろいろ」が今秋公開予定。

**申込方法** | 住所、氏名、電話・Fax番号、メールアドレスをご記入の上、Faxまたはメールでお申込みください。

**申込先** | Fax: 046-875-2968 メール: public@moma.pref.kanagawa.jp

## 展示会「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」

「マヴォ(Mavo)」や「三科」といったグループの活動を通じて日本の近代美術に決定的な影響を与えた村山知義(1901-1977)。物体を貼り込んだ造形作品や、トランスジェンダーなダンスパフォーマンスなど、ジャンルを横断した目覚ましい活動は、同時代に多くの共感者を生み出しました。「子供之友」などの児童雑誌にイラストレーションを発表し、挿絵作家「Tom」としても活躍し、詩人・児童文学者の妻、壽子(かづこ)の童話をはじめ、数多くの児童文学に添えられた洒落なイラストは、今なお瑞々しい魅力で、前衛芸術家・村山知義のもうひとつの面をみせています。

1920年代の美術の仕事を中心に、村山知義の宇宙的な多様性を紹介する、初めての大規模な個展。村山が夢みた創造力の開放、沸騰の軌跡を検証する本展をぜひご覧ください。

**会期** | 2012年2月11日(土・祝) - 3月25日(日)

**会場** | 神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 tel.046-875-2800

**休館日** | 月曜日

**観覧料** | 一般1,000円(900円)/20歳未満と学生850円(750円)/65歳以上500円/高校生100円

\*①内は20名以上の団体料金です。\*中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

**主催** | 神奈川県立近代美術館/読売新聞社/美術連絡協議会

**協賛** | ライオン/清水建設/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網

**助成** | 公益信託タカシマヤ文化基金/公益財団法人 野村財団

